

リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会 令和元年度総会並びに建設促進要望活動

令和元年度年9月18日（水）コンファレンススクエアエムプラス 10F「グランド」において、沿線9都府県の経済団体で構成する「リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会」（会長：山本亜土）の令和元年度総会が開催されました。当会からは岡本直之三重県商工会議所連合会会長（津商工会議所会頭）、田中彩子副会長（鈴鹿商工会議所会頭）、岩佐憲治副会長（亀山商工会議所会頭）ほか多数の関係者にご参加いただきました。



▲藤田事務次官（右から3番目）に要望を行なう岡本会長（左から4番目）、岩佐副会長（左から2番目）

総会では、平成30年度事業報告並びに収支決算、令和元年度事業計画並びに収支予算について審議され、それぞれ承認されました。

総会決議では、1. 東京・名古屋間の早期整備、未着工区間の早期着手、2. 技術開発等による大幅なコストダウンと一日も早い全線開業のための方策を示すこと、3. 名古屋・大阪間の概略ルート及び駅の概略位置の早期公表と環境影響評価の手続き着手、4. ターミナル駅の交通アクセス、周辺まちづくりに早い段階からの検討協議、また、民間プロジェクトの組成など事業スキームの早期検討、5. 大深度地下使用等行政手続きの円滑化、6. 駅位置やまちづくり等における地域意向の反映、を要望していくことを決議いたしました。

総会終了後には、決議された要望書を持参し、岡本会長、岩佐副会長を始めとする関係者19名で国土交通省を訪問し、藤田耕三国土交通事務次官、山田邦博技監、北村知久都市局長、水嶋智鉄道局長に対して、建設促進の要望活動を行いました。



▲山田技監（右から6番目）に要望を行なう岡本会長（右から5番目）、岩佐副会長（左から2番目）